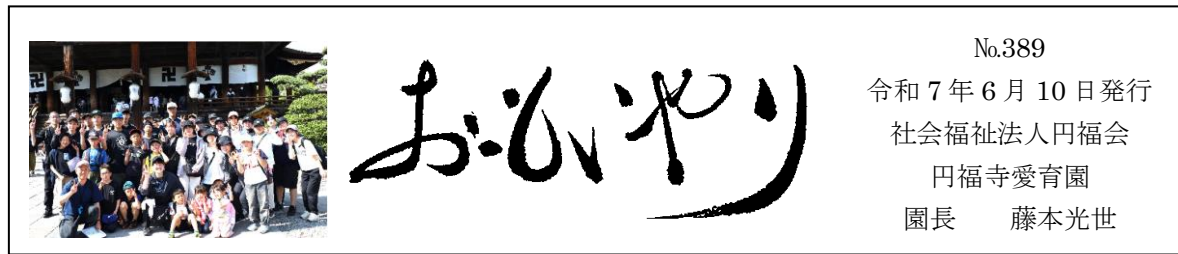


今年も善光寺までの 21 km、全員完歩しました。



子どもの幸せ

園長 藤本光世

長野県社会的養育推進計画（後期計画）で、長野県が「子どもの幸せ」について、「幸せ」とは何かを避けつつ、今の幸せと将来の幸せを分けるとか分けないとか、おかしいことを書いています。それ以来「幸せ」について考えるようになりました。私にとって「幸せ」とは、当たり前で誰もが分かっていることと思っていたのです。

子どもの幸せとは何でしょうか。

子どもには、良い心と悪い心が共存しているのです。良い心をたくさん出して、悪い心を出さないようにする。そう育てることが、子どもにとって幸せなのです。あるいは、生涯の幸せに結びつくのです。

悪い心とは何でしょうか。それは暴言、暴力となって現れます。わざわざ子ども同士でトラブルを起こす、言いがかりをつける、傷つけられた子どもを守るために、割って入った職員に矛先を変えて暴言暴力。職員はたまらないなあ。昔は盗癖を持つ子がいました（今はいない）。人を傷つけることはいけないのです。幸せになれない。

問題は、これらの悪い行いがコンプレックスの底にある、無意識から生じることです。それはさまざまなことがきっかけで表に出てくるのです。この根本原因に手を入れることは、難しいなあ。とっても難しい。

でも、愛育園では光が見えているのです。その一つがA君のボード。「幸せ」は自分から幸せになろうとしないかぎり、周囲でああしなさい、こうしなさいといくら言っても、強制してもなれないのです。A君はその道筋を私たちの示してくださいました。仏さまです。

今、もう一つ事例を生み出そうとしています。それは何でしょう。明らかになったところでここに書きましょう。それまでは秘密です。でも、私は確信しています。このことにより、その子は自信を持ち幸せへの一步を踏み出し、大きく飛躍することを。そして、その良

(令和 7 年 6 月 10 日発行 月刊「円福」537 号付録)

い影響は子どもたちに敷衍して、子どもたち全体がよくなることを。楽しみにしてくださいね。

可能性を拓く 幸せへの道

子どもたちには無限の可能性があります。これは、言葉ではよく言われていますね。その可能性を拓いてあげることは幸せへの道です。そのような養育をしなければなりません。

思い返すと、私は高校物理の教員でしたが、その授業は「生徒の可能性を拓く」ことを貫いていたのです。年間約 30 回の生徒実験（教科書に載っている実験ではなく、自分で考えた、物理の本質に迫る実験。必ずレポートを書かせ提出させる）を、進度を無視して超進学校でも貫きました。（このことで、学力が落ちたということはありません。むしろ本質を理解した生徒は数Ⅲの難問を物理で解いたのです）

次の感想は、退学者が毎年 50 人以上も出ていた地域校の理科Ⅱの授業で、テレビを分解し（グループごとの生徒実験だから、4 月に古テレビ 12 台集めた。）その部品を使っているような実験をした最後の授業に生徒が書いてくれたものです。

ー先生へー 最初で最後のメッセージ

● この一年間本当に楽しかったです。

● どっかの誰かさんが（3 年 2 組の宮沢くん）

生きた気がしたとか、何とか…って言ってましたよ。（それじゃー今まで死んでいたんじゃーん、って言ったら笑ってうなずいていた。）それくらい、男子にはおもしろかったのだと思います。

● 先生の授業のように、生きぬきが必要だと思います。

● 来年からもずっとやってみてはどうですか？

私たち卒業生が、カクシンをもってすすめられる唯一の授業でしたから。

● これからも頑張ってください。

● 一年間ありがとうございました。

それまで、授業が成り立っていない学校でした。理科室は水道の蛇口が曲げられ、引き抜かれ、机は傷つけられていました。それで理科授業は教室でやっていました。生徒は実験が好きだし、話せばわかると理科室の授業を貫いたのです。その通りでした。

「生きぬき」とは可能性を拓くということです。生徒が安全安心を感じ、心を開いて、授業に臨んでくれて、初めてこのようにできるのです。それは養育でも同じなのです。

平等ということ

平等を、みんな同じに扱うと考えていませんか。この子に特別何かをやってあげるとえこひいきになると思っていませんか。何かをねだってくる子を、許せないと拒絶していませんか。それらは形式的な平等であり、真の平等ではありません。

真の平等とは、手をかけてあげなければならない子に、たくさん手をかけてあげることで。このことを私は初任の高校で学びました。

数学がとても苦手で、からきしできない子がいます。その子に寄り添ってあげる。他の子を差し置いてもその子に寄り添ってあげる。これが平等ということ。

愛育園の子どもたちはみんな寂しがっています。口には出さなくても心の底にそのような思いを持っています。それは、成育歴や措置された理由であり環境によるものでしょう。その寂しさを私はすごく感じます。心に伝わります。だから、手を入れてあげる子にはできるだけ関わってあげる。すると子どもは変わるのです。同じ子がいつまでも関りをねだるのではない。手を入れてあげていると、奇跡的な変化（自分でやりだす）が表れる。そうすると別の子に手を入れられる。そんな事例をいくつも見ました。

引き出すということ

授業は知識を教えることではありません。詰め込むことではありません。「教科書を読みなさい」ではありません。「ここを覚えておきなさい」ではありません。

あちこちの小学校で「人間について」や「開国」の授業をされた、元宮城教育大学学長の林竹二先生は「学ぶということ」の中で、学ぶとは何かを覚えることではない、一片の知識が学んだことの証しというならば、それは何も学んだことにならない。「学ぶ」とはいつでも何かが始まることである、と。

素晴らしい言葉と思います。

本当の「学び」の授業をする先生には、子どもたちの表情が明るくなり、授業に活気があり、心の満足を得るのです。とても美味しいお料理を食べたときのように。それは、廊下を通っても分かります。

養育もそうなのです。

何かをさせる、しつける、やらせる、注意する、それらの働きかけは養育の本質ではないのです。強いられた子どもは反発、反抗するときもあるでしょう。職員も子どももお互いに傷つくのです。ところが、養育とはいつでもどこでも何かが始まることだから、強いことを止めれば、子どもはなつき、自ら変わろうとするのです。そうするには、どうしたら良いのか。ここに具体的な実践研究があるのです。子どもからの学びがあるのです。子どもから

畑の土が水を染み込むように学んで、そこから養育の芽が育つのです。斎藤喜博先生は「私の教師論」の中で、地面がカチカチで、水を染み込まない、拒絶する、そのような教員がいかに多いかと批判しています。

養育者は子どもの心に心を傾け、子どもの心に学び、それを水とし、肥しとして自分の心の苗を育てなければいけません。

何かを指摘されても、自分を変えない、変えられないと拒絶し、上から目線で子どもに接する、こちこちの固まった大地のようではいけません。

子どもから学ぶとは、どうやったら子どもの心を開墾して、心を開かせ、心と心の対話ができるようにすることです。ここに養育の根底があります。

第 4 回善光寺ウォーキング

主任指導員 T.M

5 月 3 日、21 km 善光寺ウォーキングの行事を行いました。3 年前から始めたウォーキング行事も今年で 4 回目を迎えました。

愛育園から松代方面に迂回して、ホワイtring、ビッグハットと経由して、最後善光寺さんをゴールに、子ども達と職員が一緒になって全員で歩きます。今年度、最初の全体行事ですが、事故やケガもなく、年長児さんから高校 3 年生の全員が完歩する事ができました。

あおぞらホームの男の子たちは、日頃から元気に外を走り回って遊んでいる事もあってか、21 km では物足りない位の勢いで完歩してしまいました。もう 10 km 位あっても平気な様子でしたが、やはり様々所で成長を感じ、2 年前は小学 2 年生でまごころホームのお姉さん児童や女性職員さんに優しく励まされながら歩いた子が、去年はしっかりあおぞらホームの一員として歩き切りました。ただ、何度もぐずりかけではアメ玉を口に入れてを繰り返してなんとか歩いたといった感じだったのですが、今年は最初から最後までハツラツとした様子で歩き切っている姿があったり、先生との会話を楽しみにしてずーっと楽しい話題を振ってくれて、いつの間にかとってもコミュニケーションの力がついたなぁと感心する場面を色んな所で見る事ができました。



まごころホームの女の子たちも、道中、先生達と楽しくおしゃべりをしながらゴールを目指して歩いていましたが、後半になるにつれ、だんだんと疲れが溜まり口数が減りながらも表情良く最後まで歩き切っていました。年長児の男の子と女の子の 2 名も参加しました。去年、年中の時

にも参加しましたが、男の子の方は去年も完歩し、女の子の方は途中で車に乗る部分があり完歩となりませんでした。しかし今年は、先生達と手をつないで見事に最後まで頑張って歩き切りました。

こういった行事を事故やケガや迷子がなく、周りの方に迷惑をかける事なく、さらにゴミ拾いなどとした上で成功させられる事は、園の子ども達が落ち着いて生活ができており、一人一人の心が育ってきている事の表れだと感じています。

これから夏に向けて、臨海行事やキャンプ行事など全体行事が盛んになっていきますが、今回の善光寺ウォーキングはとても良いスタートを切れたと思っています。

一学期も半分が終わり、子ども達もそれぞれの新しい環境に大分慣れてきている様子が見られます。日々の生活を大事にしながら、一学期の後半も子ども達が楽しく前向きに過ごしていけるように工夫していきたいと思っています。

善光寺ウォーキング

あおぞらホーム F・K

5月3日に円福寺愛育園では今年も善光寺ウォーキングを行いました。

善光寺ウォーキングでは愛育園から善光寺までの約21kmの距離をみんなで歩くなか、私は、今年は半分までしか歩いていないのですが、その中でも子どもたちの色々な表情を見る事ができました。

私も今年で善光寺ウォーキングの参加も4回目になりますが、初めて参加したときは、21kmなんて子どもたちも歩けるのかな？と思っていました。しかし実際に歩いてみると子どもたちは最初から最後まで自分の足でしっかり歩き、中には「まだまだ全然歩けるよ」なんて言う元気な子もいたり子どもたちの体力には毎年驚かされます。



また、子どもたちはただ歩くだけでなくその道中のゴミ拾いもとても頑張ってくれます。今年の善光寺ウォーキングでも、中3のS君やN君と一緒に雑談しながら歩いている中でゴミを見つけると「あった」と言って拾いに行き、中には堤防の坂を下って坂の途中の草むらに落ちているゴミまで拾いに行く姿も見られ、積極的にゴミ拾いする姿はとても立派だと改めて感じました。しかも、ゴミ拾いをただしているのではなく、ゴミを拾っては「こんなゴミもあったよ」と楽しそうに報告しに来てくれる姿から、大人はただのゴミ拾いと思ってしまう所も子どもたちは楽しんで出来るのは凄いなと感じました。

(令和7年6月10日発行 月刊「円福」537号付録)

今年も善光寺ウォーキングでは、子どもたちと一緒に歩きながらたくさんお話をし、普段園内で関わるだけでは見えない子どもたちの姿を見る事ができる素敵な行事になりました。来年もとても楽しみです。

善光寺ウォーキング

まごころホームN・R

5月3日に毎年恒例の善光寺ウォーキングが行われました。

私自身は、去年に引き続き2回目の参加となりました。去年は、長野大橋辺りでFちゃんとりタイアとなってしまいましたが、今年は無事完歩することが出来ました。

特に印象深いのはFちゃんです。去年のリタイアが悔しかったようで、Fちゃん自身も「今年は頑張る！」と行事前から意気込んでいました。私も完歩できるか心配でしたが、一緒に頑張ろうねと励まし合いながら当日を迎えました。休憩ポイントや道中で、度々頑張っているねと声を掛けると「まだ歩けるよ」「楽しい」といった感想も話しており、とても頑張っている表情をしていることが多かったです。また、去年より歩くスピードも速くなっていました。後半につれて疲れも出始めており、ペースも落ちてはいましたが最後までとても頑張って歩いていました。様々な場面で去年からの成長した姿を見る事が出来て良かったです。



今年初めて参加する子や、私自身完歩の経験がなかったためどうなるのか心配でしたが、全員で善光寺まで完歩することが出来ました。改めて子どもの体力には驚かされましたし、子どもと会話を楽しみながら歩くことで普段なかなか味わえない貴重な時間となりました。

善光寺ウォーキング

調理員 I・H

GWの始めに晴天に恵まれ、今年も善光寺ウォーキングが行われました。

今年は調理3人、子供達と歩く方に参加させていただきました。

初めて歩く側になってみて自分自身不安もありましたが、誰一人怪我なく無事ゴールまで歩ききり、みんなで達成感を一緒に味わうことができました。特に後半になると、体力も足も辛くなってきますが、幼児さんも弱音を吐



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

くことなく楽しく先生たちと歩いている姿を見て、一年間の成長は凄まじいと感じました。

今回、インターシップの方が3名善光寺ウォーキングに参加されました。参加する形になったのが今回初めてで、一緒に子供達と歩いて直接行事を通して関わる大事な経験になったと思います。私も今回、一緒に歩いたことで気づいたこと、学んだことがありました。また来年も一緒に参加できるように私自身もこれから精進していきたいと思います。

善光寺ウォーキング 児童感想 あおぞら

楽しかった善光寺ウォーキング

善光寺ウォーキングが5月3日にありました。ゴミ拾いしながら歩いている途中であめをなめながら歩いたり、休憩でアイスを食べられたりと嬉しかったです。お昼で食べたお弁当うどんはとても美味しかったです。休憩したり、みんなと話したりしていると善光寺に着きました。記念写真をとってからお土産を買いました。良い物が買えて嬉しかったです。また行きたいです。



(小6 A・Y)

善光寺ウォーキングの感想

5月3日に善光寺ウォーキングがありました。ぼくは何回もこの行事に参加しているので、大変ではなかったけど善光寺に着く少し前の坂は大変でした。善光寺に着くと写真撮影をしてお土産を買いました。自分の好きな物が買えて嬉しかったです。とても楽しい善光寺ウォーキングでした。

(小4 A・A)

善光寺ウォーキング



僕は善光寺ウォーキングが大好きで毎年楽しみでワクワクしています。ウォーキングが大好きな理由は園の子とたくさん話ができるからです。お昼ご飯は調理の先生がお弁当を作ってきてくれてホワイトリンクで食べました。美味しかったです。道中に旧車のイベントがビックハットで開催されておりそれが見れたことも良かったです。善光寺まで21キロ歩いた自分へのお土産に、お菓子やキーホルダーを買いました。来年も楽しみです。

(高2 K・K)

(令和7年6月10日発行 月刊「円福」537号付録)

善光寺ウォーキング 児童感想 まごころ

善光寺ウォーキング

5月3日に、今年度初めての愛育園行事である善光寺ウォーキングがありました。今年も園から善光寺まで約21km歩きました。前回は、「疲れた」とたくさん言ってしまったので今回は我慢し、周りの場を歌を歌ったりして盛り上げました。そのおかげで去年より時間が早く感じた気がしました。無事、完歩することが出来たので良かったです。疲れたけど最後まで頑張れたので良かったです。善光寺に着いたら自分のお小遣いで食べ物を買いました。私は、スタバと牛肉のクロックを食べました。とっても美味しかったです。次の朝、腰がすごく痛くて身動きとりづかったです。でも、とてもいい思い出です。今年は卒園生で一つ行事が終わり早く感じています。たくさん思い出作ってみたいです。

(高校3年生 S・R)

善光寺ウォーキング

今年も善光寺ウォーキングをやりました。今年は、まごころの中で先頭を歩き、幼児さんもいたため、一緒に手を繋いで引っ張りながら歩いたり、お茶を飲ませてあげたりとたくさんの面倒を見ながら歩きました。だんだん腕や足が疲れてきましたが、楽しくお話をしながら歩くことができました。休憩ポイントの場所では、アイスを食べたり、一休みをしたりすることができました。イベントがあったりしたので、去年までは通っていない道を通ったりもしました。お昼には、うどんや小盛り弁当を食べました。おいしかったです。その後は、Qooを食べたりして善光寺まで来ました。善光寺には、ものすごい人がたくさんいてびっくりしました。善光寺では、スタバの期間限定のいちごの飲み物をのみました。めっちゃおいしかったです。カスタードアップルパイも食べました。初めて食べたけど、すごくおいしかったです。とても楽しかったし、とても疲れた一日でした。その日の夜はぐっすり眠ることができました。

(高校2年生 N・M)

あおぞら GW 行事

あおぞらホーム A・Y

今年あおぞらではGW行事として、1日目は映画館へ行き、映画鑑賞をしたり、夜には「ゆったり苑」に行きお風呂に入ったり、そのまま大鋒寺さんへあおぞらホームの子どもたち全員でお泊りに行ったりと子どもたちにとって楽しい1日となったのではないかなと思います。





2 日目はお昼から浜津ヶ池近くにある、レクリエーションパークで BBQ をしました。BBQ では子どもたちが率先してお手伝いをしてくれたおかげもあり、盛り上がりました。アスレチックで遊んだり、中高生はバスケットコートでバスケットボールをしたり、小学生はカナヘビ捕りをしたりとそれぞれ楽しむことができました。今年の GW 行事も子どもたちにとって良い思い出、経験になったのではないかと思います。

まごころ GW 行事

今年の GW 行事は、まごころホームでは、映画館に行き、また、茶臼山動物園に行ってきました。映画館では、年長さんが初めて大きなスクリーンで観ることに挑戦しました。初めてだったのにも関わらず、とても落ち着いて静かに観ている姿に成長を感じました。子どもたちそれぞれが、楽しみにしていた映画を観る事ができ、とても嬉しそうでした。

茶臼山動物園では、たくさんの動物に驚く姿があったり、可愛い動物たちとふれあいました。とても暑い日だったので、かき氷やアイスなどをニコニコで食べていました。帰ってきてからも、お土産話が尽きない子どもたちでした。



新学期が始まって一カ月が経ち、緊張感や不安な事もあったかと思いますが学校生活を頑張っていた分、思いっきり楽しんでいた姿が印象的です。束の間の息抜きになったのかなと思います。また元気に学校に行ったり、園で過ごしていけるよう支援していきたいと思います。

母の日の会

5 月 11 日母の日の会がありました。毎年、自分が担当させてもらっており、今年は何を作ろうかな？と考えるのがいつも楽しみになっています。今年もそうですがこの時期になると 3 週間くらい前から少しずつ準備を始めていきます、物理的な準備自体は 3 週間前ですが自分の頭の中では年中学業を巡らせていて、個人的な日々の生活の中で例えば何かのイベントのクラフトフェアへ出かけて行っていいヒントがないか

まごころホーム H・M



探したり、ふと見かけた良さそうなものをメモしておいたり、定期的に手芸のお店にいったりしています。女性の先生方は何が喜ぶかな？それは子どもたちが作るにあたり難しすぎないか？あるいは簡単すぎないか？なども考慮して結構悩むところが多いです。そんな中、今年はビーズで作るコンパクトミラーと木工で作るペン立てにしました。色々悩んだのですが実際に試作して見ると作り方も、制作時間もちょうど良い感じでありいいものが出来そうだな、と思いました。

子ども達に声をかけ作り始めるとみんな楽しそうに制作してくれて、次から次へとどんどん作ってくれました。自分の勤務の日には「今日もやりますか」と積極的に声をかけてくれて夜の時間などに皆でワイワイやりながら子どもたちと関わるのも楽しくこちらとしてもいい時間のきっかけにもなりました。また、普段あまり関わる事の無いまごころの中高生達とも関わる時間が持てて、意外とこの子はこういう作業が苦手なんだな、この子はけっこう器用なんだな、など知らなかった一面も見られていい発見にもなりました。

女性の先生方、いつもありがとうございます。



あおぞらホームだより

あおぞらホーム S・K

新学期が始まって、早くも 2 ヶ月が経ちました。子どもたちも少しずつ新しい環境に慣れ、落ち着いて過ごせるようになってきたように感じます。

小学生は、5 月の終わりに運動会がありました。短距離走や騎馬戦に全力で取り組む姿や、ソーラン節や組体操を成功させるために一生懸命協力し合う様子がとても印象的でした。それぞれが真剣に向き合う姿に、成長を感じることができました。

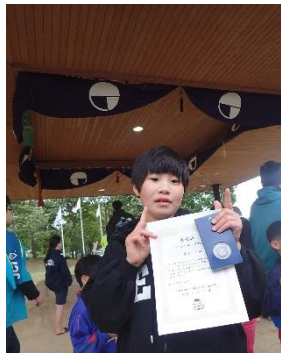
中高生は、中間テストに挑みました。新学期最初のテストということもあり、思うように点数が伸びなかった子もいれば、いきなり高得点を取った子もいましたが、共通していたのは、みんながこれまで以上に真剣にテスト勉強に取り組んでいたことです。テストが終わった今、早くも次のテストに向けて勉強を始めている子もいて、その意欲に驚かされます。

6 月は天候が不安定になりやすい時期ですが、体調を崩さず元気に過ごせるよう、今後も子どもたちの生活をしっかりとサポートしていきたいと思います。

まごころホームだより

まごころホーム T.S

新年度から 2 カ月がたち、子どもたちもそれぞれ新しい環境に少しずつ慣れてきたように感じます。まごころホームの小学校 1 年生の H さん、A さんも「友達ができるかな・・・」と緊張していましたが、今では仲良く遊べていて、帰ってくると「今日はみんなで鬼ごっこしたよ!」と楽しそうに話をしてくれるようになりました。また、先日通明小学校の運動会がありました。H さん、A さんは初めての運動会で、毎日練習でくたくたになり、夕飯中にぼんやりしている時もあるくらい頑張っていました。かけっこや玉入れを頑張ったようです。小 5 の M さんは騎馬戦で友達と協力してできたこと、小 6 の R さんは最後の運動会で立派に組体操を披露できたそうです。さらに、M さん、R さんは南長野運動公園で行われたちびっこ相撲大会に出場してきました。



した。二人とも高学年の部に出て、総当たり戦だったので、二人の対決もあり、どの試合の時より二人の気合いが入っていたようです。結果は M さんが 2 勝でき、R さんは準優勝だったので、R さんは 6 月の県大会に勝ち進む事ができました。ホームのみんなも「すごいね!」と感心していました。みんなで応援できたらいいいと思います。中高生の方は先日中間テストがあり、結果に一喜一憂しています。高 2 の T さんは数学で 98 点を取り、とても喜んでいました。頑張った分が結果に表れたようで良かったです。1 学期も折り返しなのでみんなで毎日元気に過ごしていきたいと思います。

調理室だより

調理員 K・Y

5 月に入り、寒暖差で子供達の体調を心配していましたが、GW も色々な行事にも元気に参加して充実した毎日を送っていました。

一安心です。

【5 月の特別メニュー】

3 日 善光寺ウォーキングお弁当

冷しうどん、からあげくん、小さめおにぎり（ごま塩）、ブロッコリー、ミニトマト

6 日 創立記念メニュー

手巻き寿司、ほうれん草のピーナッツ和え、茶碗蒸し

11 日 母の日メニュー

ビーフシチューオムライス、サラダ、フルーツの盛り合わせ

【誕生日メニュー】

30 日 R 君

なんちゃってビビンバ丼、中華スープ、たことブロッコリーのバジルサラダ、シュークリーム

これから本格的な暑い夏がやってきます。

特に食中毒に気を付け、元気に乗り切れますよう、食事作りに力をいれていきたいと思います。

